

第 29 回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：優秀賞（高学年の部）

タイトル：ありがとう、お巡りさん

氏名：鵜飼 心優（ウガイ ミユ）

小学校名：富山県 立山町立立山中央小学校 六年

実は私の家族は去年、交通事故にあいました。青信号になって車が動いたら、弟の側に横から車がぶつかってきたことだけが分かりました。事故が起きてすぐに、母がどこかに電話をしていました。すぐに、よく見かけるパトカーが到着しました。相手の車は道の横の川に突っ込んで落ちているのが見えました。私はこれからどうなるのか心配になりました。その後、大きなワゴン車のパトカーも到着しました。母とお巡りさんは話をしていたけれど、私と弟はとても怖くて、ずっと車の後ろに隠れていました。最初に到着したお巡りさんは「どこか痛いところはない？」と、最初に私と弟の体の心配をしてくださいました。「大丈夫です。」と答えると、他にも「信号は何だった？」「シートベルトはしてた？」といくつか質問されました。私たちはどきどきして、怖くて外がどんな様子か見るできませんでした。

事故の後、何日かして警察署に行きました。初めて入る警察署はとても怖いところでした。でも、そのお巡りさんも私たちの体のことを心配してくださいました。「悪いことをした人は、ここではお話を聞かないよ。お姉ちゃんたちは何も悪いことをしていないから、ここでお話を聞くね。お巡りさんの話が違っていたら『違う』って教えてね。」と言ってくださいました。一つ一つ「どうだったかな。」とゆっくり聞かれました。私は警察署は恐ろしい場所だと思っていました。テレビで見るお巡りさんの様子は、悪いことをした人を逮捕したり、人が暴れたら大声を出したり力強く押さえたりして、カッコいいけれど怖いというイメージが強いです。でも、私たちの話を聞いてくださったお巡りさんは、体の心配をしてくれたり、悪いことをしなければ警察署は怖くないところだと教えてくれたりして、とても優しいと思いました。私は交通事故にあって、警察官の仕事は、悪いことをした人を逮捕するだけでなく、事故にあった人や困っている人を助けるという仕事もあるんだと分かりました。

そういえば、お巡りさんは保育園に交通安全教室にも来てくださったなと思いました。誰かを助けるためにお巡りさんは様々な仕事をしておられます。時々道でシートベルトをしているか調べたり、スピード違反を取りしまったりするのも、人を逮捕する目的ではなく、命を守るための大切な仕事なのだと、今回出会ったお巡りさんの優しさから知ることができました。優しいお巡りさんに出会えて、私の中の警察官のイメージが大きく変わりました。警察官は強さも温かさもあるすてきな人だと思います。事故は本当に怖かったけ

れど、優しいお巡りさんのおかげで安心しました。ありがとうございました。